

# 埼玉中枢都市圏業務核都市基本構想の概要

## 基本構想変更の目的

平成4年の基本構想策定から10年以上が経過し、その間、第5次首都圏基本計画や首都圏整備計画が新たに策定された。第5次首都圏基本計画では、浦和市・大宮市を中心とする地域について、浦和地区、大宮・さいたま新都心及び周辺地区を業務施設集積地区として整備を推進するとともに、21世紀を展望した高次都市機能の集積及び国の行政機関等の移転を進め、緑と調和した快適でゆとりのある職住近接型の都市形成を図り、内陸型の国際文化業務核都市として育成・整備することとされ、これを受けた首都圏整備計画では、さいたま市を中心とする地域では、国際文化都市圏として整備するため、さいたま新都心地区、浦和駅東口駅前地区等の整備を推進し、商業、業務、文化機能の集積を図るとともに、ワールドカップをはじめとしたスポーツ等における国際交流や商業、居住機能の集積を図ることとされている。

これらを踏まえ、大宮・さいたま新都心及び周辺地区の業務施設集積地区に新たに8施設を中核的民間施設として追加するとともに、構想内容の時点修正を行った。

## 基本構想の概要

1 構 想 名 埼玉中枢都市圏業務核都市基本構想

2 面 積 約22,874ha

3 対象市町村名 さいたま市、上尾市及び伊奈町

### 4 将 来 像

北関東、上信越等東日本の玄関口である大宮駅を中心とした新幹線等の鉄道ネットワークにおける拠点性や東京都心部との交通利便性に加え、荒川、見沼田圃等における豊かな緑と水辺の存在など、その地域特性を活かしながら、高次都市機能の集積を図るとともに、広域行政機能を導入し、緑と調和した快適でゆとりのある職住近接型の都市形成を図り、もって東京圏における埼玉自立都市圏の中心となる国際文化業務核都市を目指す。

### 5 整 備 の 方 針

業務施設集積地区として、浦和地区では、埼玉自立都市圏を対象とする広域行政機能を核に、中核的な商業・業務機能、国際文化交流機能を、大宮・さいたま新都心及び周辺地区では、広域行政機能、国際交流機能を核に、コンベンション機能、中核的な商業・業務機能を主として導入するとともに対事業所サービス等の都市型産業の育成を図る。

複合的市街地整備地区として、上尾地区では、レクリエーション機能、流通機能、商業・業務機能を、伊奈モデルタウン地区においては、教育・文化機能、研究開発機能、先端技術産業を主として導入する。

## 6 業務施設集積地区及び中核的施設

業務施設 集積地区	市町村名	面積	整備の方針及び中核的施設
浦和地区	さいたま市 南区、 浦和区	約 2 3 4 ha	県行政を中心とした広域行政機能、商業・業務機能、教育・文化機能等の集積地区として整備する。 < 中核的施設 > ・浦和駅東口地下公共自動車駐車場 (浦和駅東口地下駐車場) ・武蔵浦和駅周辺再開発ビル ・武蔵浦和駅周辺地下駐車場
大宮・ さいたま 新都心 及び周辺 地区	さいたま市 大宮区、 中央区、 浦和区	約 5 8 7 ha	国の地方支分部局を中心とした広域的な行政機能、国際交流機能、コンベンション機能、商業・業務機能、教育・文化機能等の集積地区として整備する。 < 中核的施設 > ・南側中核施設群(埼玉メッセ) ・さいたま新都心 1 6 街区駐車場 ・さいたま新都心 1 4 街区シネマコンプレックス ・さいたま新都心 1 4 街区多目的広場 ・さいたま新都心 1 4 街区歩行者デッキ ・さいたま新都心 4 街区会議場 ・さいたま新都心 4 街区健康サ-ンター ・さいたま新都心 5 街区ショールム ・さいたま新都心 5 街区歩行者デッキ ・さいたまスーパーアリーナ(埼玉コロシウム) ・けやきひろば(多目的広場) ・北与野駅北口地下駐車場

\_\_\_\_\_は、新しく追加された中核的施設

( )は、変更前の施設名

## 7 配慮事項等

業務核都市の整備の推進上不可欠である公共施設等の整備を図るとともに、環境の保全、地価の安定、適正かつ合理的な土地利用、業務機能と居住機能の調和等に配慮する。